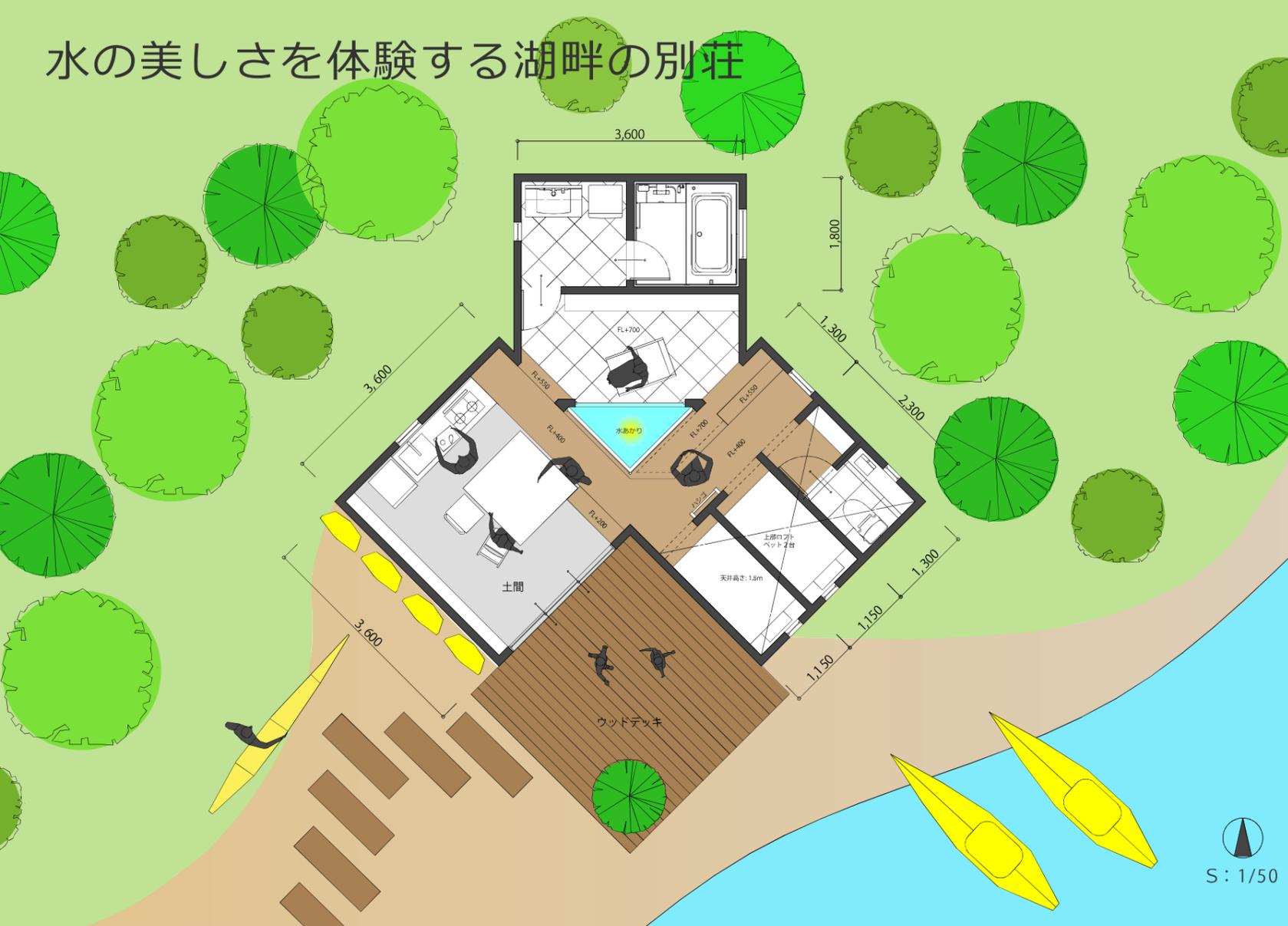


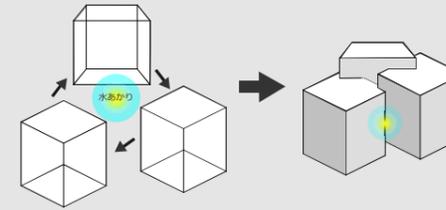
水の美しさを体験する湖畔の別荘



CONCEPT

都心で忙しい日々を送る人が美しい水を湛える湖畔で、カヤックという共通の趣味を持つ友人達と特別な時間を過ごすための別荘です。3つの立体1つずつに明確な役割を持たせ、フロアレベルをずらすことで、ゆるやかに空間を分けています。また、中心に水場を設け、照明を埋め込むことで幻想的な「水あかり」を室内のどこにいても常に感じられる計画としています。

DIAGRAM

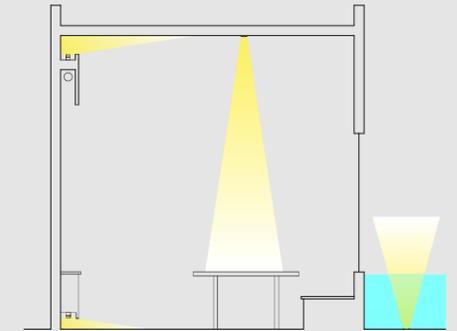


FUTURE

いずれはカヤック体験のコテージとして運営予定。「ツドイの間」を改装し、受付・食堂・プロジェクターを使用したカヤックの講習を行う場所とします。

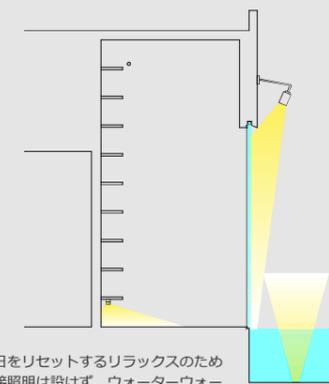
照明設備：大光電気（内部照明）・タカショー（外部照明）
概算予算：2,500万円

照明計画「ツドイの間」



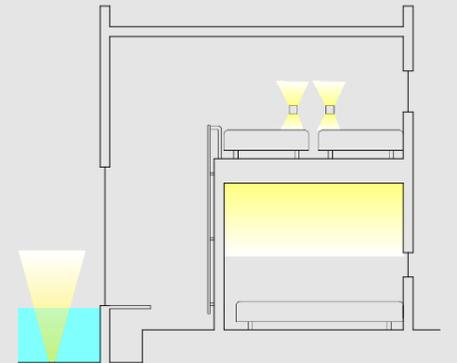
「ツドイの間」は食事を楽しんだり、大型スクリーンを使って友人達と映画を楽しんだりするため、それぞれのシーンに合わせた照明計画としています。間接照明は調光式とすることで、シーンに合わせて調整。建物中心の「水あかり」により、天井に水面が映ることで、まるで水中で食事をしている様な幻想的な体験ができます。

照明計画「クツロギの間」



「クツロギの間」は1日をリセットするリラクスのための空間とするため、直接照明は設けず、ウォーターウォールの水の揺らぎを外部から照明で照らし、五感で水の美しさを体験します。

照明計画「キュウソクの間」



「キュウソクの間」は自然と眠りにつける様に照明の色温度を電球色として明るさ抑えた間接照明を採用します。「水あかり」も間接的にベッドルームのカーテン越しに感じることができます。



「ツドイの間」は床をモルタルで仕上げることで、半外部の様に使える空間とし、壁はAEPのオフホワイトで仕上げ、照明の光とモルタル・オークの床材が映える計画としています。食事をしながら、窓から湖畔の風景と建物内の「水あかり」の両方を楽しむことができます。

ツドイの間



「クツロギの間」はウォーターウォールの水と光のゆらぎに集中できる様に極力色を抑え、床と壁・天井はオフホワイトに統一。床材はマットな400角のタイルとし高級サロンの様なくつろぎ空間を演出します。

クツロギの間



「キュウソクの間」は睡眠に入りやすい様に色彩は落ち着いたあるナチュラルテイストで統一し、カーテンやシーツなどのテキスタイルをリネンやコットン素材とし、温かみを与えます。各個室の小窓は湖から昇る朝日に反射する美しい水面を眺めることができます。

キュウソクの間